

健康、多様性啓発へ 県とアクサ生命協定

県は、アクサ生命保険(東京)と県民の健康向上やダ

イバーシティ(多様性)への理解促進、教育活動などでの協力を目的とした包括連携協定を結んだ。

同社は連携協定に基づき、営業活動で訪問する県内企業に従業員の健康対策を啓発したり、性的少数者(LGBTQ)など多様な立場にある人への理解を促進したりする取り組みを進める。また、保険を扱う同社の社員が県立高校に向き、金融教育に関する授業を行うことも検討しているという。

県庁で19日に開かれた締結式で、大井川知事は「茨

城県が熱心に取り組んでいるLGBTQの問題などで力を借り、全国に誇れるダイバーシティ社会を作りたい」と語り、同社の幸本智彦副社長は「県民が日本一幸せな県の実現に向けて、微力ながら貢献したい」と述べた。